

氏名	西田(山口)乃生子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	成人看護学 国際保健				
学位	博士(保健学)				
学歴	2003年北里大学大学院看護学研究科 2009年東京大学大学院医学系研究科博士課程				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、08年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師 17埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本ハンセン病学会 日本国際保健医療学会 日本看護学教育学会 日本公衆衛生学会 日本環境感染学会 日本看護科学学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1 埼玉県における地域での看取りに関わる要因分析	共著	保健医療福祉科学; 7; P26-31	田上豊, 山口乃生子, 星野純子, 會田みゆき, 延原弘章	2018.03	
2 医療機関に勤務する中堅看護師に向けた原因教育プログラムの現状と課題	共著	保健医療福祉科学; 7; P32-45	唐沢博子, 鈴木玲子, 常盤文枝, 山口乃生子, 大場良子, 宮部明美	2018.03	
(3) 学会発表					
1 Related factors of regional difference in death at home, Saitama	共著	The 21st World Congress of Epidemiology, International Epidemiological Association (IEA); Omiya City	○Nobuko Yamaguchi, Yutaka Tagami, Junko Hoshino, Mariko Zensho, Akane Nakamura	2017.08	
2 PBL・TBL混合型教育プログラムの評価 3年間の縦断調査から	共著	日本看護学教育学会第28回学術集会; 宜野湾市	○宮部 明美, 鈴木 玲子, 常盤 文枝, 山口 乃生子, 大場 良子	2017.08	
3 看護師の継続教育におけるPBLを活用した研修プログラムの実施と評価	共著	日本看護学教育学会第27回学術集会; 宜野湾市	○常盤 文枝, 鈴木 玲子, 山口 乃生子, 大場 良子, 宮部 明美	2017.08	
4 喫煙と生活満足度との関連	共著	第76回日本公衆衛生学会総会; 鹿児島市	○伊藤 奏, 延原 弘章, 若林 千七口, 野口 有紀, 北島 義典, 本間 三恵子, 内山 真理, 新村 洋未, 山口 乃生子, 金 さやか, 柳川 洋	2017. 10	
5 地域住民の受動喫煙の実態	共著	第76回日本公衆衛生学会総会; 鹿児島市	○延原 弘章, 本間 三恵子, 若林 千七口, 北島 義典, 内山 真理, 伊藤 奏, 新村 洋未, 山口 乃生子, 金 さやか, 野口 有紀, 柳川 洋	2017. 10	
6 中国北京市、韓国、日本における喫煙と受動喫煙	共著	第76回日本公衆衛生学会総会; 鹿児島市	○若林 千七口, 伊藤 奏, 野口 有紀, 本間 三恵子, 内山 真理, 山口 乃生子, 北島 義典, 新村 洋未, 延原 弘章, 金 さやか, 柳川 洋	2017. 10	

7	健康情報を求める者の属性・主観的健康感および生活満足度 本邦・ハワイの比較	共著	第76回日本公衆衛生学会総会; 鹿児島市	○本間 三恵子, 延原弘章, 若林 テヒロ, 北畠 義典, 内山 真理, 伊藤 奏, 新村 洋未, 山口 乃生子, 金 さやか, 野口 有紀, 柳川 洋	2017. 10
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		看護師のキャリア開発に資するPBLを活用した教育プログラムの検証(研究分担者)		2014.4~2018.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		地域におけるハンセン病回復者のQuality of Deathを支える終末期ケア(研究代表者)		2016.4~2019.3
3	埼玉県立大学 研究開発センター		在宅でのQuality of Death(QOD)を支える地域特性を視点とした要因分析の研究(研究分担者)		2016.4~2019.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	(学部)成人看護学 I	2017.1	成人看護学に関連する中範囲理論についての講義を行った。		
2	(学部)グローバルヘルス	2017.10~2018.1	地球規模で考える健康課題について講義を行った。		
3	(学部)成人看護学Ⅲ	2017.10~2018.2	急性期看護についてPBLやTBLを用いて学生の能動的学習を促進した。		
4	(学部)卒業研究	2017.4~2018.3	看護研究の過程の一連が理解できるよう指導した(5名)。		
5	(大学院)保健医療福祉学際英語	2018.1	国際学会発表や国際共同研究についての基礎を教授した。		
6	(大学院)成人看護学援助論	2017.10~2018.2	看護研究の知識や技術の理解が深められるよう開催した。		
(2) 演習					
1	成人看護学Ⅲ	2017.10~2018.1	急性期に関する看護技術演習をシミュレーターを用いて行った。		
(3) 実習					
1	成人看護学実習 I	2017.5~2017.6	看護学科3年生に対し、急性期患者の看護について指導した。		
2	総合実習	2017.7~2017.8	看護学科4年生に対し、学生の課題に応じた実習内容を検討し実施した。		
3	成人看護学実習Ⅲ	2017.9	看護学科3年生に対し、災害看護について理解できるよう指導した。		
4	IPW実習	2017.6~2017.10	学科4年生を対象にし、ファシリテータおよび病院担当者との調整を行い、学生が演習を行いやすい環境を整えた。		
(4) 論文指導					
1	該当なし				
(5) その他					
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会等の講師					
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ		開催年月
1	看護管理と看護の動向	板橋中央看護専門学校 第1学科	国際看護		2017. 6
2	夢ナビライブ2017	株式会社フロムページ	グローバルヘルスと看護の役割		2017. 7
3	キャリアラダー研修「看護理論Ⅱ」	越谷市立病院	看護実践に活用する中範囲理論		2017.10
4	国際看護論	山形県立保健医療福祉大学	国際看護		2017.10
5	看護管理と看護の動向	板橋中央看護専門学校 第2学科	グローバルヘルスと看護の役割		2017.12
6	エドゥケーターナース研修	自治科大学附属さいたま医療センター	中堅看護師を対象とした教育力向上を目指したエドゥケーターナース研修		2017.9~2017.12
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等					
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称			任期
1	該当なし				
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月

1	夢ナビトーク	Youtubeにて高校生向けに学問の楽しさを伝えた。	2017.7
5. 学内運営(委員会委員)			
1	男女共同参画推進委員会 委員		
2	入試実施部会 委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		